

夢ある**明日**の千葉市のために

# 民主党の約束



2007年統一地方選挙

民主党の目指す千葉市政  
ローカルマニフェスト

**子どもと**

**あなたの未来を**

**託せる千葉市に**

2007年統一地方選挙

民主党の目指す千葉市政  
**ローカルマニフェスト**

**2007年統一地方選挙  
民主党の目指す千葉市  
ローカルマニフェスト  
民主党千葉市政政策**

## **千葉市政に対する基本姿勢**

2007年4月の千葉市議会議員選挙にあたり、民主党千葉市支部協議会・千葉市政対策部会は、市民の皆様が安心して安全に暮らせる街、全国に誇れる千葉の街づくりをめざし、千葉市政に対する基本姿勢を明らかにし、以下の課題を実現するため全力で取り組むこととお約束いたします。

### **1「市民が真ん中」の市政改革をめざします。**

民主党は、分権自治の時代にあって、文字通り市民に開かれた、市民が中心となる千葉市政、「市民が真ん中の市政」を目指し、市役所改革に全力で取り組みます。

### **2 市民に近い現場で、市民の声が直接届き、実現する「区役所分権」をめざします。**

民主党は、区役所に一定の独自予算と権限を配分し、市民に近い現場で、市民の声が直接届き、実現する「区役所分権」をめざします。

### **3「市民満足度」100%の市政をめざします。**

民主党は、市民が安心して安全に暮らせる街、誇りの持てる街づくりがどこまで出来たのか、そして市民が市政への評価として満足しているかどうかの指標を作り、「市民満足度」100%をめざして取り組みます。

# 3つの日本一と6つの重点政策

民主党は、「市民が真ん中」の市政改革、市民の問題を身近なところで解決する「区役所分権」、市民の市政に対する「市民満足度」100%をめざし、3つの日本一と6つの重点課題を掲げ実現のため全力を尽くします。

## 3つの日本一

- 1 子育て・教育 日本一! ————— P3
- 2 地域福祉 日本一! ————— P4
- 3 情報公開 日本一! ————— P5

## 6つの重点政策

- 1 サービス向上・市役所改革 ————— P6
- 2 市民に負担をかけない財政改革 ————— P7
- 3 誰もが元気に働ける活気あるまちづくり — P8
- 4 誰もが安心して暮らせるまちづくり ——— P9
- 5 自然と共生する暮らしの実現 ————— P10
- 6 個性と魅力あふれるまちづくり ————— P11

# 子育て・教育 日本一!

千葉市の出生率は、17年度全国平均1.25を下回る1.20。  
働きながら安心して子供を産み、育てられる、「子育て・教育」  
のまち、日本一を実現します。

## 千葉市の子ども達と子育て世代のために

---

- 乳幼児の医療費は、義務教育終了時まで無料にします。
- 少子化対策として第三子以降の子どもに、児童手当の終了後から15歳まで手当を支給する新制度を創設します。
- 保育所入所に係る保護者負担額の算定方式を見直し、複数の子を保育所に預ける際の保護者負担額の軽減を図ります。
- 保育所・子どもルームの待機児童を解消するとともに、「認定こども園」の活用など幼・保一元化を進めます。
- 幼稚園の就園奨励費を引き上げ保護者負担の軽減を図ると共に、園に対する助成の充実を進めます。
- 既存の施設を利用して各区に子供（18歳未満）のための居場所・児童施設を作ります。
- 中小企業（300人以下）にも「次世代育成支援行動計画」の策定を促すなど男女共同参画を積極的に推進します。
- 児童虐待については、市の児童相談所に専門職員を増員し、体制を充実します。
- こどもルームについては、受け入れ時間を朝夜それぞれ延長するとともに、保育年齢を6年生までに拡大します。

## 学校教育の充実

---

- 小中学校の30人学級化を進めます。
- 千葉市独自の教職員の採用・配置を行い、一人一人の子供たちにきめ細かい教育を進めます。
- 小中学校の学区の見直し、学校統廃合については、地域住民・保護者の意向を尊重します。
- 心身や発達に障がいを持つ子どもたちを受け入れているクラスの複数担任制の実現など、少人数指導・複数担任制を実現します。
- 校内LANの全小中学校への早期導入を行います。
- 小学校にしかない「専任の図書館指導員」を中学校にも配置します。
- 地域の人たちによる授業のサポートなどで、学校・地域・家庭の連携を強めます。
- スクールカウンセラーを小学校にも配置し、子供たちのSOSを早期に発見し対応します。

高齢化社会への対策が急務です。「地域福祉計画」を確実に実施し、全国のモデルとなるような、福祉を核にした地域コミュニティづくりを進め、高齢者や障がい者、誰もが安心して暮らせる「まち」日本一を実現します。

## 福祉の街づくり

---

- 地域の人材やNPOなどが社会福祉協議会と協力して活動できる拠点を、中学校区単位で設けます。
- 小規模特別養護老人ホームや、グループホーム、授産所など高齢者や障がい者の居住、通所施設を街の中に整備し、共に支えあう街づくりを推進します。
- 小中学校の空き(余裕)教室などを福祉の活動拠点や生涯学習などに積極的に活用します。
- 小中学校、公民館、市営住宅などのバリアフリー化を進めます。
- 市民税の1%をNPO・市民活動団体に寄付できる支援制度を創設します。
- 赤ちゃんからお年寄りまで誰もがいつでも利用できる夜間急病診療所の増設など、救急医療体制を充実します。

## 高齢者、障がい者が安心して暮らせる街

---

- 自校給食が行われている小学校で、余裕教室を利用し、高齢者などが小学生と昼食を食べる「地域交流給食」を始めます。
- 高齢者が要介護にならないような健康対策を充実すると共に、要介護高齢者が可能な限り自宅ですごせるように、24時間訪問介護サービスの展開を促進します。
- 介護保険制度については、在宅・施設両面での基盤の充実をはかると共に、介護保険の利用者負担を軽減します。
- 障害者自立支援法により増額されることとなった利用者負担を軽減すると共に、障がい者施設への支援を強化します。
- 障がい者の雇用を高めるため、事業所への働きかけを行います。

県市民税不正免除事件や滞納市税額の改ざんなど不正不当な行政運営の再発を防ぐため、市民・納税者への説明責任を果たし、情報公開の徹底など、市民がしっかりチェックできる体制を整え、情報公開ランキング全国1位を実現します。

## 市役所に対して

---

- 財政や政策立案過程の情報をホームページで公開し、市民が市政に参画できる環境を整えます。
- 公営企業や外郭団体の経営状態に関する情報公開を推進します。
- 議員や有力者等から受けた要望などは文書で残して、公開の対象にします。不当要求行為に対しては法令や市の対策要綱に基づき、厳正に対応します。
- 市役所内で不正な行為があれば、外部に設けた「行政監察員」に職員が通報できる「公益通報制度」を設けるなど、コンプライアンス（法令遵守）の制度を整えます。
- 市政に対する市民の苦情を迅速に処理し、市政の監視、不正不適切な行政の是正勧告を行い、市民に開かれ市民の信頼を確保するため、市民オンブズマン制度実現をめざします。

## 市議会に対して

---

- 常任委員会の市民傍聴を認め、市民に開かれた議会運営の実現に努めます。
- 市議会会派に支給されている政務調査費については、用途を明らかにするため領収書を添付し公開の対象とします。

# サービス向上・市役所改革

市政は市民のものであり、市民参加と協働によって市政の未来を創造することができます。市民が真ん中の市役所に改革し、市民満足度を高める行政サービス向上を実現します。

- 市民向け窓口サービスについて、土曜日及び日曜日も実施するとともに、ワンストップサービスを実施するなど窓口サービスの向上を図ります。
- 「千葉市自治基本条例」を制定し、市民自治の基本理念の下に、市政運営、まちづくりの基本原則を確立します。
- 「市民参加条例」を制定し、市民との情報共有、政策意見の反映、市民と行政の協働を推進します。
- 住民のニーズにきめ細かく対応する組織にするため、区ごとにまちづくり区民参加組織を設置し、独自政策へ予算を配分するなど区役所への分権を進めます。
- 各種審議会への公募市民枠を拡大し、女性枠も当面30%以上を義務化します。
- 各種施策毎の市民満足度を調査するため、年度ごとに市民アンケートを実施し、行政サービス向上の指針とします。

## 市民に負担をかけない財政改革

千葉市の財源不足は、平成19年度で約250億円に及び、借金残高が18年度末で約1兆700億円に達すると見込まれています。さらに高齢化の進展に伴う社会福祉費の増大や、税収の減少が見込まれ、このままでは近い将来財政危機に陥るのは明らかです。事業の厳しい見直しで借金体質の改善に取り組みます。

- 法定外市税や広告料など新たな財源確保及び市税、各種料金などの徴収対策の徹底、資産の有効活用等の歳入確保策の実施や財政改革により、新規事業の財源を積極的に確保します。
- 財政再建プランにある徴税率目標（94.3%）の達成など、自主財源の確保と健全財政への転換を図ります。
- 市民による政策評価委員会を設置し、毎年度、公共事業・各種補助金など全事業について、その費用対効果を評価、優先順位の低い事業は縮小・中止します。
- 外郭団体の経営の効率化や整理統合を推進します。
- 新規の大型公共事業については、第三者による事前評価制度を導入して情報を公開し、無駄な公共事業をなくします。
- 「市事業に関する入札、発注、契約に関する条例」を制定し、市が入札、発注、契約にあたり、一般競争入札を原則とし、また事業者に対して金額や技術力のほか、当該企業のコンプライアンス（法令遵守）、従業員に対する公正労働の確保、男女共同参画及び障がい者雇用の状況などを勘案した「総合評価方式」を導入し、企業が社会的責任を果たすよう求め、市事業の発注と執行に当たって効率と公正の両立を図ります。
- 入札結果については、ホームページを含めて公開します。

中小企業への支援制度の充実や新しいビジネスモデルの創出などで、誰もが地元で元気に働ける活気ある「まち」を実現します。

## 新産業の育成や起業支援、雇用対策の推進

---

- 市内の大学や研究機関と連携し、新しいビジネスモデルを創出し、起業・育成を図ります。
- 企業誘致を積極的に進めるとともに、中小企業や商店街に対する支援施策を充実させ、市内経済の活性化を図ります。
- 学校給食への地場農産物の利用などで「千産千消」を進め、環境保全型農業の振興を図ります。
- 女性や高齢者、障害者、ニートなど、誰もが元気に働けるよう、市の就職相談窓口を大幅に拡充します。
- 介護、子育て、まちづくり、文化活動など、住民が地域の課題を解決するために行うコミュニティビジネスの起業を支援する制度を創設します。
- 若年層の就業体験として、市内の官公庁や企業、農家が受け入れるインターンシップを充実します。
- 千葉駅周辺の中心市街地は、お年寄りも若者も「住めるまち」にする誘導策を進め、「食・住・遊」で賑わう街にして活性化させます。

犯罪や地震・風水害の不安を解消し、市民が安全に安心して暮らせるための対策は、市政の重要な課題です。  
自然災害に対する備え、防犯対策、消費生活の安全など、市民生活の安全・安心対策の充実に取り組みます。

## 防犯対策

---

- 警察と協力して、地域の防犯情報をホームページや携帯メールなどでわかりやすく提供するなど、地域防犯を進めます。
- 自治会などが行う防犯パトロール、落書き消去活動及び学校セーフティウォッチャー活動などに対して、一層の支援を行います。

## 生活の安全

---

- 食品安全基本法に基づき、食品の安全を守るための施策を充実します。
- 消費生活センターの機能を充実させ、詐欺や悪質商法などに積極的に対応するとともに、衣・食・住に係る消費者保護を推進します。
- 上下水道普及未整備区域の解消をめざします。

## 地震対策

---

- 小中学校の校舎の耐震化工事をできるだけ早く終了させます。
- 木造住宅の耐震改修への助成制度を共同住宅にも適用します。
- 災害時の重要な組織、自主防災組織や自治会、消防団などが「災害弱者」への対応などで具体的な活動ができるように支援します。
- 子供からお年寄りまで誰もが災害時でもよく判る避難路や防災施設の整備を推進します。

# 自然と共生する暮らしの実現

美しい田園風景は、市民の安らぎです。市民の目線から環境行政を見直し、千葉市の水と緑を守り、自然と共生し潤いのある暮らしを実現します。

## 自然を守る対策

---

- 里山や谷津田を景観条例の保護対象とするなど、千葉の原風景を守ります。
- 市街地に残る緑地を守る施策を市民参加で進め、水や緑に親しめる環境を作ります。

## 不法投棄ゼロへ

---

- 廃棄物処理場の許可基準を見直し、立地規制を強化します。産業廃棄物の不法投棄の監視体制を整え、不法投棄ゼロを目指します。
- 公害防止協定を見直して汚染物質の排出規制を強化、また監視体制も強化して生活環境を守ります。

## リサイクル都市へ

---

- 生ゴミ、紙類、プラスチックなどの分別・リサイクルを徹底して資源化率を高め、ゴミの減量化を推進します。

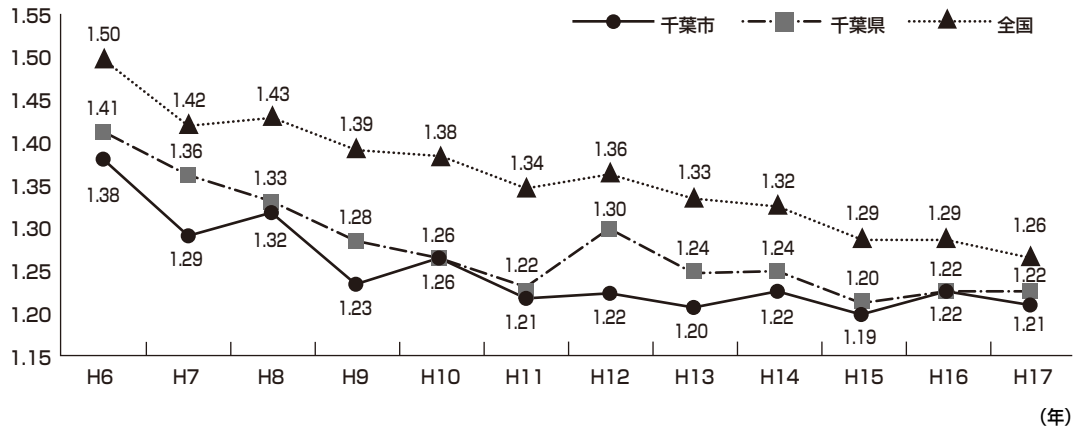
都市生活に魅力と潤いをつちかい、利便性の高い街づくりを促進します。

## 都市の魅力と景観づくり

---

- 電線地中化事業の計画的な推進・街路樹の育成など、都市景観の美化を推進します。
- 地域固有の事情や個性に応じた土地利用と基盤整備により、良好な街並みをつくと共に、文化施設、歴史的な遺産、自然環境等の積極的な保全、活用を進めます。
- 都市モノレールについては、経営効率を高め利便性のある公共交通として改善を図ると共に、県庁から千葉大付属、市立青葉両病院までの延伸について、市内総合交通のあり方を含め、慎重に必要性、採算性等を検討することとします。

## 1 合計特殊出生率の推移 厚生労働省「人口動態統計」及び千葉市「新ハーモニープラン」から作成

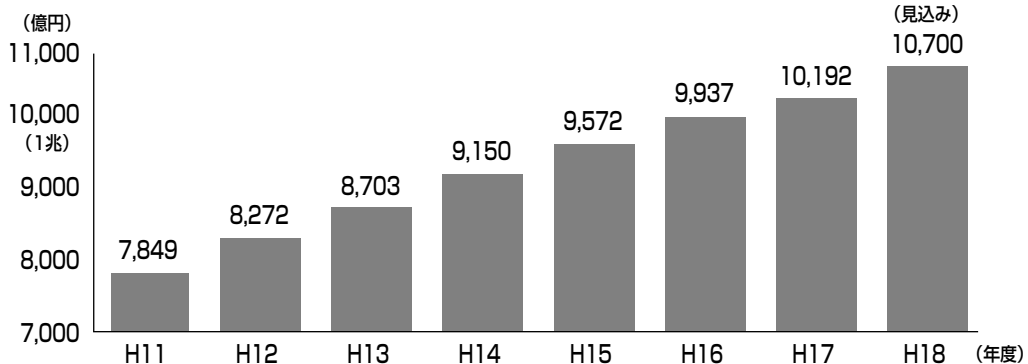


## 2 情報公開度ランキング (政令市) 全国市民オンブズマン2006年3月発表より

第10回全国情報公開ランキング 政令市 総合ランキング

総合順位	自治体名	交際費 (15ポイント)	指定管理者 (35ポイント)	入札 (10ポイント)	政務調査費 (30ポイント)	失格 閲覧手数料	コピー代(円)	百点満点換算	
								合計 (90ポイント)	百点満点換算
本年	昨年								
1	-	静岡市	0	22	10	25	10	57	63.3
2	1	札幌市	11	26	8	8	10	53	58.9
3	3	福岡市	7	27	10	9	10	53	58.9
4	2	横浜市	15	27	6	1	10	49	54.4
5	8	川崎市	13	21	0	3	10	37	41.1
6	6	神戸市	7	17	6	7	10	37	41.1
7	4	京都市	7	18	10	1	10	36	40
8	6	名古屋市	7	17	8	1	10	33	36.7
9	12	北九州市	0	22	10	1	10	33	36.7
10	11	仙台市	2	22	6	1	10	31	34.4
11	8	さいたま市	8	4	8	9	10	29	32.2
12	8	広島市	12	11	6	0	10	29	32.2
13	13	大阪市	15	7	6	0	10	28	31.1
14	5	千葉市	3	9	6	1	10	19	21.1

## 3 市債残高の推移 千葉市「主要施策成果説明書」等より

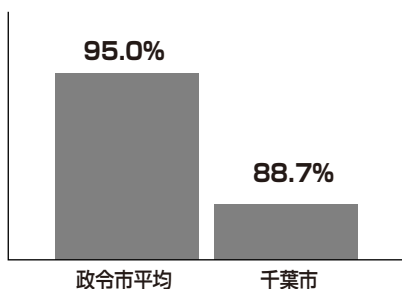


## 4 公債依存度の他政令市比較 「千葉市財政健全化」プランより

	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
千葉市	20.5%	20.6%	16.6%	18.9%	16.4%	14.2%	13.7%	16.6%	19.0%	18.0%
政令市平均	20.7%	17.6%	14.4%	15.2%	12.2%	11.4%	11.5%	12.5%	13.4%	11.6%

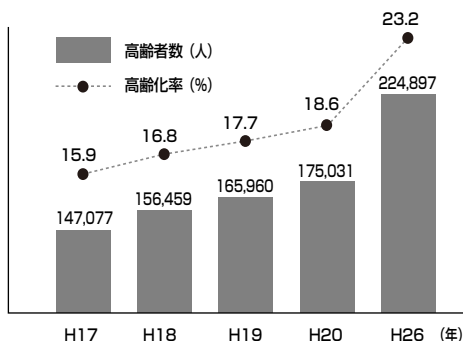
## 5 市税収納率の他政令市比較 (平成17年度)

各市発表の決算関係資料から作成



## 6 高齢者数及び高齢化率の推移

千葉市「保健福祉推進計画」から作成

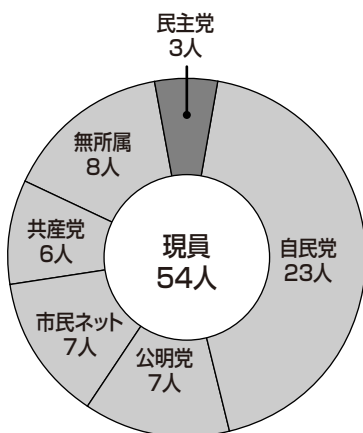


## 7 人口 千葉市統計資料より

区分	人口			対前月人口増減数	対前年同月人口		世帯数	面積 km <sup>2</sup>
	総数	男	女		増減数	増減率 %		
千葉市総数	931,387	465,934	465,453	280	6,068	0.66	380,996	272.08
中央区	187,005	94,400	92,605	90	1,857	1.00	84,241	44.81
花見川区	181,806	90,922	90,884	-40	87	0.05	73,638	34.24
稲毛区	150,575	75,738	74,837	39	540	0.36	64,007	21.25
若葉区	150,090	75,483	74,607	86	238	0.16	58,564	84.21
緑区	114,809	56,954	57,855	75	1,776	1.57	40,452	66.41
美浜区	147,102	72,437	74,665	30	1,570	1.08	60,094	21.16

平成18年12月1日現在

## 8 千葉市議会党派別構成



平成19年1月現在

### 2007年統一地方選挙 ローカルマニフェスト 民主党千葉市政政策

編集発行  
民主党千葉市支部協議会 千葉市政部会

〒260-0031  
千葉市中央区新千葉2-5-14  
ニュー芳野ビル5F  
Tel 043-302-7710  
Fax 043-302-7720  
<http://www.minshu-c.com/>  
e-mail [minshu-c@theia.ocn.ne.jp](mailto:minshu-c@theia.ocn.ne.jp)

市議会が<sup>い</sup>変わる、  
市政が<sup>い</sup>変わる、  
千葉市が<sup>い</sup>変わる。

